

Embarcadero の Delphi による Windows アプリケーションの開発

■ 01 : Windows のアプリケーション

Windows のアプリケーションを説明する前に、簡単に DOS (Disk Operation System) のアプリケーションの説明をします。

アプリケーションの開発環境として、自分の場合は Borland の Turbo C 2.0 を使用していました。Borland は Turbo C や Turbo Pascal の開発環境を提供していて、Turbo Pascal から Delphi へと移行しました。

DOS のアプリケーションは、自分のアプリケーションを実行中は他のアプリケーションを実行できない、いわゆるシングルタスクになります。といっても、キーボードからの入力や通信ポートからの入力を検知する必要があり、アプリケーションの中で入力の信号の判定を行い、自前で処理を行う必要があります。ただし、キーボード入力等を検知する仕組みは Operation System から提供されていて、開発環境では関数として取得できます。Windows の「メモ帳」に相当するアプリケーションを作成するときには、「常時」入力されたキー入力を判定して、処理を分岐して、キー入力にあった処理を行います。

```
/*開始はメイン関数*/
int main(int argc, char *argv[])
{
    /*キー入力待ち*/
    while(1){
        /* 1 文字入力*/
        c=read_key();
        /*ESC*/
        if (c==0x001B){
            /*消去*/
            clear_screen();
        }
        else{
            /*その他*/
        }
    }
    /*終了*/
    return 0;
}
```

Windows の場合は、同時に複数のアプリケーションの動作が可能なマルチタスクが基本になります。「メモ帳」がアクティブになっている時は、キーボードから入力された情報が、Windows から Message として「メモ帳」に送られ、この Message を判定して、処理を行います。このようにキーボード入力やマウス移動の「イベント」で処理を行います。